

## 1. 総評

**(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】**

## [学校の現状]

## ○児童について

素直で優しい児童が多い。人とかかわる活動を楽しんで行うことができる。また、与えられた課題に一生懸命に取り組む姿が多く見られる。さらに、自ら課題を見つけ解決していく力を育てていきたい。区学力調査からは、基礎的・基本的な学習内容の定着が不十分であることが分かる。学力向上の取り組みに力を入れていく。

## ○教師について

新規採用教員や教職経験の浅い教員（6年未満）が教員の約5割である。若手を育てるベテラン教員と共に「チーム中川東」として、児童の視点を大切に教育活動を推進している。休み時間は全員が外に出て児童と一緒に遊ぶ姿が見られ、常に児童と共にある教師集団である。「教師は授業が命」を合言葉に授業力向上に全力で努めている。

## ○保護者・地域について

地域の温かさに包まれている学校である。「PTA」「開かれた学校づくり協議会」を中心とした保護者・地域の方々が積極的に教育活動に協力する姿がある。「あだち放課後子ども教室事業」の「きらりクラブ」の活動も定着している。今後も保護者・地域の方々との連携を深め、共に「地域に育つ子供たち」を育てていく。

## [前年度の成果と課題]

## ○教員の授業力を高め、児童の学力向上を図る。

教員の授業力向上が顕著に見られた一年間であった。管理職による授業観察・教科指導専門員による巡回指導・校内研究による研究授業など授業公開を多く設定したことに因る。授業内容の充実と併せて、パワーアップタイム（朝学習）・花丸教室（放課後補習教室）・そだち指導等個に応じた指導の徹底により、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることができた。今後は基礎基本の定着と共に、児童の意欲をより高め、活用力を育てていく授業改善に努める。家庭学習の習慣化、特に自主学習の充実を図ることで主体的な学びの姿を育てる。新学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組む。

## ○児童がより安全に、安心して学ぶことができる環境を確立する。

いじめ防止対策委員会を機能させ、いじめ相談箱・HyperQ-U検査も活用し、いじめの早期発見・早期解決を図ってきた。学校施設を安全に保つため、日々の施設点検を徹底した。外壁・トイレ改修工事、体育館照明工事が無事に完了。創立40周年に向けた環境整備が始まった。今後も計画的に安全指導を行い、危機管理マニュアルを活用した訓練等の実施により、安全への最大限の配慮を尽くしていく。子供の心を育てる指導を充実させるため、人とかかわる活動を意図的・組織的に展開していく。

## ○保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

保護者アンケートをもとに各取り組みの見直しや改善を図り、共に児童を育む学校づくりを進めてきた。学校評価アンケートの結果では、肯定的回答が90%以上となった。その反面、授業公開や保護者会への参加率は引き続きの課題として残っている。内容の充実と共にHP等情報発信に努めていく。地域とは「開かれた学校づくり協議会」を中心に連携を図っている。管理職・会長共に新しい顔ぶれで新体制を開始した。創立40周年に向けて、より連携を深めていく。

**(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組の概要****重点的な取組事項－1 教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。**

- 校内研究による教員の授業力向上その1 楽しく挑戦したくなる授業の創造・「分かる授業」の追究
- 小中連携による教員の授業力向上その2 第十二中・大谷田小・長門小との連携による授業力・専門性向上
- 個に応じた指導の充実 花丸教室（放課後補習教室）・そだち指導・ノート指導・足立スタンダードの徹底
- 家庭学習に対する保護者の意識の向上と啓発 「家庭学習キャンペーン」・自主学習の定着

**重点的な取組事項－2 児童が安心して学べる教育環境を整える。**

- いじめのない学校生活の充実 いじめ防止対策委員会・いじめアンケート・いじめ相談箱・HyperQ-U検査
- 子供の心を育てる教育活動の充実 縦割り班活動・「特別の教科 道徳」・挨拶運動・「人とかかわる活動」
- 安全・安心な学校の維持 創立40周年に向けた環境美化・日々の施設点検・早期改修

**重点的な取組事項－3 保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。**

- 保護者との共育体制の確立 授業公開・保護者会の内容刷新・情報発信の充実・PTA活動の活性化
- 「開かれた学校づくり協議会」を中心として協働体制の確立 地域人材の新規発掘・活動の紹介周知
- 子供の夢を育む周辺教育施設との連携体制の確立 日常的交流の充実・小中連携における系統性の徹底

### (3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### 重点的な取組事項－1 教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。

(成果)

- ・区学力調査 目標通過率 78.4%を達成 昨年度比 0.5%△－昨年度比 1.6%△
- ・校内研究（国語科 年間 8 回の研究授業）における教員の授業力向上と組織的研究のレベルアップ
- ・第十二中学校・大谷田小学校・長門小学校との小中連携を通じた授業力と専門性の向上（年間 4 回の授業）
- ・足立スタンダードによる若手教員の授業スタイルの確立（国語・算数）
- ・そだち指導（第 3・4 学年対象児童）の充実による個に応じた学力の底上げ
- ・パワーアップタイム（朝学習）・花丸教室（放課後補習教室）の徹底実施 全教職員による組織的取り組み
- ・家庭学習カードの活用方法の徹底 自主学習のモデル提示（保護者に周知）
- ・M I Mの取り組みによる特殊音節を効率的に活用した指導の継続 3rd ステージ対象児童 5%以下
- ・児童の学力推移や弱点を学力ポートフォリオにより把握 授業改善に活用

(課題・解決の方向性)

- ・基礎基本の定着にとどまらぬ活用力を目指した授業改善の方向性
- ・新学習指導要領の理念「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- ・学力ポートフォリオを活用した補習教室の指導内容精選と指導体制強化
- ・そだち指導対象児童の選び方における効果検証 新 3 年生保護者への周知の仕方
- ・M I M取り組みの全校的展開（第 1 学年担当教員のみならず）

#### 重点的な取組事項－2 児童が安心して学べる教育環境を整える。

(成果)

- ・定期的即時的にいじめ防止対策委員会を開き、未然防止・早期発見に努めた。いじめ解決率 100%達成
- ・HyperQ-U 検査を活用した温かく高め合う学級経営の展開 支援を要する児童への配慮
- ・生活指導上の課題について全校組織で対応 全教職員一丸となって課題解決へ
- ・特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー・各関係諸機関との連携強化
- ・「特別の教科 道徳」の取り組みの充実 新学習指導要領の共通理解 道徳授業地区公開講座の改善
- ・創立 40 周年に向けた環境美化

(課題・解決の方向性)

- ・より安定した学年・学級経営の展開 組織的機動力のさらなる充実
- ・創立 40 周年に向けた教育環境のさらなる充実（校庭外周の美化・花壇の整備・空き教室の活用等）
- ・創立 40 周年における縦割り班活動を中心に据えた児童主体の活動の創造・計画・実施

#### 重点的な取組事項－3 保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

(成果)

- ・保護者との共育体制の確立 97%の肯定的回答
- ・授業参観・保護者会への参加率の増加
- ・おおやたこども園・大谷田第一保育園・ナーサリースクールいずみとの交流を通じた円滑な就学への方向性
- ・幼保小中高という 18 年間の長い成長スパンをもった交流を地域レベルで展開
- ・創立 40 周年に向けた校内組織の構築始動 「創立 40 周年準備委員会」の立ち上げ（地域）

(課題・解決の方向性)

- ・9 月と 10 月の授業公開への参加率を増やすための内容の工夫・情報発信の徹底
- ・創立 40 周年に向けた保護者の士気の高揚 組織構築
- ・「開かれた学校づくり協議会」を中心に据えた創立 40 周年実行委員会の運営

#### (4) 保護者や地域へのメッセージ

本校は、若い教員が多く元気いっぱいの学校です。その若手教員を育てるベテラン教員たちも教育愛にあふれています。「チーム中川東」として一つにまとまり、子供たちの視点を大切にした教育を押し進めています。中川東小学校では、一人一人の子供たちが大切に育てられていることが自慢です。児童数 302 名と決して大きくはない学校ですが、その利点を生かし、一人一人が最高に輝けるよう日々の教育活動がきめ細かに営まれています。

「教師は授業が命」です。教員は日々、子供たちの「分かった」「できるようになった」という笑顔が見たくて、教材研究に余念がありません。校内研究・小中連携も熱心に行われ、各教員は授業力や専門性の向上に努めています。都や区の研究会に積極的に参加する教員も多く、研鑽を積んでいます。若く経験は少なくても「教師魂」にあふれた教師集団と言えます。

本校では、さらに、人とのかかわりを大切に育んでいます。縦割り班活動における全校児童の仲のよさは特筆に値します。上級生が下級生に優しく接することがあたりまえにできている学校です。一人一人の子供たちにとって学校が居心地のよい場であるように、いじめの防止にも力を入れています。いじめはどの学校にも起こり得るものとの認識に立ち、いじめ防止委員会を機能させ、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努め、今年度もいじめ解決率 100%を達成しています。

本校は、地域の温かさに包まれている学校でもあります。「開かれた学校づくり協議会」「PTA」を中心とした地域・保護者の方々に見守られ、子供たちは安全で安心な学校生活を送っています。各学年への授業支援・登下校における安全確保等にとどまらず、サタデースクールやPTA「きらり祭」等は子供たちにとって地域の方々と世代を超えた交流の場にもなっています。まさしく子供たちが地域によって育てられていると実感するところです。

来年度はいよいよ創立 40 周年を迎えます。周年の前の年にあたる今年度は、地域の方々による準備委員会が立ち上げられ、40 周年に向けた機運が高まりつつあるところです。校内でも組織づくりを行い、式典・祝賀会・行事・記念誌・環境整備・情報の各委員会に分かれて活動を始めています。是非この周年に出会わせた子供たちを中心に据え、皆様と一緒に心に残る周年行事を創り上げたいと願っています。

昨年度に引き続き HP（ホームページ）の更新にも力を入れ、情報発信に努めております。地域・保護者の皆様におかれましては、学校行事や学校公開・PTA 行事等に是非おいでいただき、子供たちの「きらり」輝く姿をご覧いただけたらと思います。きっと中川東小学校の子供たちの、まっすぐで一生懸命なよさに出会えるはずです。

## 2. 平成 30 年度の重点的な取組事項

<達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>

### 重点的な取組事項－1 教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の学力向上を図る。	区学力調査 目標通過率 80%以上を目指す。	4月区学力調査 目標通過率 78.4% 昨年度比 0.5%△ 2月区学力調査（再） 目標通過率 %	基礎基本の定着にとどまらぬ活用力を目指した授業改善 自主学習のモデル提示	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
別紙「平成 30 年度学力向上アクションプラン」評価シート参照					

**重点的な取組事項－２ 児童が安心して学べる教育環境を整える。**

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童にとって安全・安心な学校生活を確立する。	学校評価アンケート「安全・安心に関する項目」：肯定的回答 90%以上	各項目 96%以上の肯定的評価を達成 いじめ防止 96% 心を育てる 99% 施設設備 98%	いじめ防止対策委員会によるいじめ解決率 100% 居場所としての学校・学年・学級経営の強化	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
いじめのない学校生活の充実	いじめ解決率 100%	いじめ防止対策委員会 いじめ相談箱 HyperQ-U 検査 いじめの早期発見・解決	いじめ解決率 100% 保護者アンケート 「いじめ防止の取組」 肯定的評価 96%	組織的対応が功を奏する。 いじめを許さない校風醸成	○
子どもの心を育てる教育活動の充実	「生活指導・特別活動に関する項目」：肯定的回答 90%以上	縦割り班活動の充実 「人とかかわる活動」の意図的・組織的展開 「特別の教科 道徳」 人権尊重教育の徹底	99%の肯定的評価を達成 昨年度比 3%△	より安定した学校・学年・学級経営を推進	○
安全・安心な学校の維持	「学校施設の安全に関する項目」：肯定的な回答 90%以上	日々の施設点検の徹底 不備に関する早期改修 創立 40 周年に向けた環境美化	98%の肯定的評価を達成 昨年度比 4%△	次年度に向けた課題は校庭外周美化・空き教室の活用等	○

**重点的な取組事項－３ 保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。**

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者や地域との連携を図り、教育活動を充実する。	学校評価アンケート「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	肯定的評価 保護者連携 97% 開かれた学校 98% 幼保小中高 97% 昨年度比 すべての項目 1%△	創立 40 周年に向けた保護者の士気の高揚を図りたい。地域が一体となった周年行事を目指したい。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者との共育体制の確立	学校公開参加率・保護者会出席率 75%以上	・保護者会等の内容刷新 ・情報発信の充実 ・交流行事の活性化	学校公開(6月) 90% 学校公開(10月) 55% 道徳地区(7月) 90% 学芸会(12月) 95%	出席率の向上は引き続きの課題。さらなる情報発信を。	○
「開かれた学校づくり協議会」を中心とした協働体制の確立	「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	・各活動との連携充実 ・地域人材の新規発掘 ・各部活動の保護者向け紹介周知	「開かれた学校づくり協議会を中心とした地域との連携」 肯定的回答 98% 昨年度比 1%△	創立 40 周年に向けた組織的運営	◎
子供の夢を育む周辺教育施設との連携体制の確立	「幼保小中高との連携に関する項目」：肯定的な回答 90%以上	・日常的交流の充実 ・小中連携の強化	「幼保小中高との交流活動」 肯定的回答 97% 昨年度比 1%△	円滑な就学への方向性 高校英語教諭との交流	◎

### 3. 学校活動全般について

「開かれた学校づくり協議会」を核として地域・保護者の皆様には、様々な教育活動へのご協力・ご支援をいただき、心から感謝しています。お陰様で子供たちは、豊かな体験や学びを広げ深めることで、心も体も健やかに成長していることを感じます。

子供たちは、地域の方々とのふれあいや交流を通して、学校や家庭だけでは学ぶことのできない大切なものを学んでいます。今後とも、学校・家庭・地域が三位一体となって子供たちの成長を見守っていかれたらと考えます。

学校における「縦割り班活動」に加え、放課後子ども教室「中川東きらりクラブ」・「サタデースクール」等の活動は、学年や年齢を超えた子供たちの交流の場となっています。

学校としては、来年度も引き続き「児童の学力向上」に力を入れて推進してまいります。さらに、いじめ0・不登校0を目指して全教職員が協働して取り組んでまいります。

また、来年度は創立40周年の年となります。開校当時の地域の沸き立つ雰囲気思い出しながら、中川東小学校のこれまで・今・これからに光をあて、心に残る周年行事を創っていきたいと思います。地域・保護者の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

## 「平成30年度 学力向上アクションプラン」評価シート

足立区立中川東小学校 学校長 豊田純子

		アクションプラン	達成目標(=数値) 〈いつまで・何を・どの程度〉	具体的な取り組み内容 〈誰が、何を、どのように〉	実施結果	コメント・課題	達成度 (◎○△●)
1	新規	校内研究による教員の授業力向上	H31 全国学力調査にて記述式無答率0%  区学力調査 目標通過率80%以上	【取り組みのねらい・目的】 学力向上に直結する教員の授業力向上を図る。 ・各学年毎週100文字作文による書く力の向上 ・読書環境の整備・充実による読む力の向上 ・次期学習指導要領を見据えた「情報」を扱う力の定着(新聞・インターネット等)	区学力調査 目標通過率 78.4% 昨年度比 0.5%△	教科を国語に設定し、年間8回の研究授業・研究協議会を実施。教員自己評価アンケートでは94%の肯定的回答。100文字作文による実践は次年度の全国学力調査にて成果が出ることを期待。	◎
2	継続	小中連携による教員の授業力向上	教員自己評価アンケート 肯定的な回答85%以上	【取り組みのねらい・目的】 学力向上に直結する教員の授業力向上を図る。 ・次期学習指導要領「主体的・対話的で深い学び」を研究主題に中学校との連携を図る。 ・特に外国語活動と英語の系統性に着目する。	教員自己評価アンケート 肯定的な回答 88%	教員自己評価アンケートでは88%の肯定的回答を得ているが、授業スタイルの統一には至っていない。自主学習の系統性に着手できたのは成果。次年度さらに深める。	△
3	継続	放課後補習教室	1月実施の定着度確認テストで目標値を通過する対象児童100%  教員自己評価アンケート 肯定的な回答85%以上	【指導者体制】担任・副担任・講師等全校体制 【取り組みのねらい・目的】 一人一人のつまずきに応じた個別指導を徹底し、理解の不十分な学習内容の補充を行う。苦手意識の早期解消を図り、学習意欲を喚起する。 【使用教材】プリント・ベーシックドリル	定着度確認テスト % 教員自己評価アンケート 肯定的な回答 96%	週2回(火・木曜日)に全校体制で「花丸教室」を実施。個に応じたきめ細かな指導を行った。ポートフォリオの活用が77%と不十分で、ポートフォリオを活用した授業改善が課題である。	○
4	継続	朝学習	毎回のミニテストで全員が正答率80%以上の結果を出す。	【指導者体制】担任 【取り組みのねらい・目的】 反復練習による学習内容の基礎基本の定着 一日の学習のリズミカルなスタートの習慣化 【使用教材】漢字・計算ドリル・ベーシック	毎回のミニテスト等 各学級 80~100%	パワーアップタイムは週3回実施。朝のスタートをスムーズにさせている。使用教材が各担任に任せられているので、全校で統一した方向性がとれれば、さらに学力向上につながるものと思われる。	○
5	改善	家庭学習の徹底	宿題提出率 100% 自主学習提出率 100% 家庭学習カード提出率 100%	【取り組みの狙い・目的】 授業の充実と家庭学習の徹底は、学力向上の両輪。家庭学習の徹底を図り、学力向上へつなげる。年10回の「家庭学習キャンペーン」を活用する。	宿題提出率 91% 自主学習提出率 87% 家庭学習カード提出率 90%	家庭学習の定着には一定の成果が見られる。定着の見られない一部の児童への支援が課題。自主学習はモデルを提示したことが意欲を高めた。次年度につながる。	◎

